

○大阪公立大学研究基盤共用センター等における共用機器学外者利用要項

(趣旨)

第1条 この要項は、大阪公立大学（以下「本学」という。）研究基盤共用センター及び生物資源開発センター（以下「センター」という。）が管理する共用化された研究機器（以下「機器」という。）を本学の構成員（本学の教職員、学生）以外の者（以下「学外者」という。）が利用することに関して必要な事項を定めるものとする。

(対象機器)

第2条 センターにおいて学外者の利用に供する機器は、別表第1に定めるとおりとする。

(休業日)

第3条 センターの休業日は、次のとおりとする。

- (1) 土曜日、日曜及び国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日
- (2) 12月29日から1月3日まで
- (3) その他本学研究基盤共用センター長又は生物資源開発センター長（以下「センター長」という。）が特に必要と認めた日

(利用者)

第4条 機器を利用できる学外者（以下「学外利用者」という。）は、所定の利用申請を行い、センター長が認めた者とする。

(機器の管理体制)

第5条 センター長は、機器ごとに機器管理責任者を置き当該機器の適正な維持管理を行う。
2 機器管理責任者は、学外利用者からの機器の利用に関する問い合わせに対応する。

(利用方法)

第6条 機器の利用方法は、次の各号に掲げるとおりとする。

- (1) 学外利用者が、機器による分析・測定等をセンターに委託する方法
- (2) 学外利用者が、自ら機器を操作して分析・測定等を行う方法。ただし、機器の利用は、当該機器の機器管理責任者より事前に操作等に関する説明を受け、機器管理責任者の指導のもとに行わなければならない。

(利用手続き等)

第7条 機器の利用手続きは、次の各号に掲げるとおりとする。

- (1) 機器を利用しようとする者は、機器管理責任者に事前相談を行った上で、指定の機器利用申請書をセンター長に提出し、その承認を受けなければならない。

- (2) 前条第1号の方法による利用について、試料等の送付又は持参に係る費用は、学外利用者が負担するものとする。
- (3) 学外利用者は、機器の利用後、センター長に機器利用報告書を提出しなければならない。
- (4) このほか必要な手続き等については、機器ごとに別に定める。

(利用料の支払い)

第8条 学外利用者は、公立大学法人大阪が定める日までに、利用料を支払わなければならない。

(損害賠償)

第9条 学外利用者は、機器等を汚損、損害、若しくは滅失し、又はこの要項に違反したことにより本学に損害を与えた場合は、これを賠償しなければならない。

(免責)

第10条 天災地変その他不可抗力の事由による分析・測定等の履行遅延又は履行の不能については、センター長は学外利用者に対して一切の責任を負わない。

- 2 学外利用者が分析・測定等の結果を利用することにより生じたいかなる損害についてもセンターは一切責任を負わない。
- 3 センターの帰すべき事由により分析・測定等の結果に過誤があったと認められる場合は、学外利用者と協議の上、次に掲げるいずれかの方法により対処する。
 - (1) センターの費用負担により依頼された分析・測定等を再実施する。
 - (2) 支払われた利用料を返還する。

(秘密保持等)

第11条 学外利用者及び学外利用者からの委託により分析・測定等の業務に従事する者は、機器利用の際に知り得た相手方の秘密情報を相手方の書面による同意なしに開示してはならない。

(データの取扱等)

第12条 センター長及び機器管理責任者は、機器の使用条件について保証するが、得られたデータの品質を保証するものではない。

- 2 学外利用者による分析・測定データの取扱いに関し、以下のとおり定める。
 - (1) 委託利用終了後のデータについては、データの漏洩等の防止のため、速やかに機器管理責任者が責任をもって消去するものとする。
 - (2) 学外利用者が分析・測定後のデータを持ち帰る場合は、持ち出しの方法や原本データの取り扱い等について機器管理責任者と事前に協議の上行うこと。

(その他)

第13条 この要項に定めるもののほか機器の学外利用に関し必要な事項は、センター長が別に定める。

附 則

この要項は、令和5年7月1日から施行する。

附 則

この要項は、令和5年11月1日から施行する。

別表第1 (第2条関係)

機器名	メーカー／機器名及び型番	設置場所
メスバウア分光装置	Wissel／MVT-1000ほか	中百舌鳥キャンパス B5棟1C-75
複合ビーム加工観察装置 【FIB-SEM】	日本電子／FIB-JIB4700F	中百舌鳥キャンパス B5棟1A-13
X線回析装置 【XRD】	リガク／SmartLab	中百舌鳥キャンパス C10棟215室
走査型プローブ顕微鏡 【AFM】	日立ハイテクサイエンス ／SPA-400	中百舌鳥キャンパス C10棟302室
高速液体クロマトグラフィー 質量分析装置【LC-MS】	・ Agilent／6430 Triple Quad LC/MS ・ Shimadzu / LCMS-8060	中百舌鳥キャンパス C8棟215室